





天を造り出し、  
これを引き延べ、  
地とその産物を押し広め、  
その上の民に息を与え、  
この上を歩む者に  
霊を授けた創造主は  
こう仰せられる。  
わたし、主は、  
義をもってあなたを召し、  
あなたの手を握り、  
あなたを見守り、  
あなたを民の契約とし、  
国々の光とする。  
イザヤ四十二番五・六節

一般財団法人 ジェネシスジャパン 2019年5月25日  
ニュースレター 第40号  
〒311-3116 茨城県東茨城郡茨城町長岡 3652-306-3  
電話 029-292-9621 ファックス 03-6862-8340

## アジア圏に創造を

この度、ジェネシスジャパンは、全アジア創造協会（AACAA）理事に選ばれ、アジア圏に聖書的創造を伝えるための活動を積極的に展開しています。来年は、全アジア創造カンファレンス台湾大会を開催（2020/8/13-15 台北）します。その準備を兼ねて2019年5月下旬に台湾で講演してきます。

<https://www.facebook.com/familyjoy.sc>  
アジア圏に創造が伝えられるため覚えてお祈りください。

## 春の創造セミナー

4月1～3日、新井智先生を主講師とし、日光オリーブの里を会場に、て春の創造セミナーが開催されました。空気の不思議を体験できるさまざまな実験を通して、創造主が造られた空気のすばらしさを考え、また滝を巡り、主が造られた自然を楽しみました。

夏の聖書&科学カンファレンスでも、新井先生が講師としてさまざまな実験をしていただきます。共に主のみわざを喜びましょう。

## お祈りください

- ・養成講座を通して、創造を語る人が起こされますように。
- ・創造セミナー参加者が多数与えられ、主のみわざが多くの人々に讃えられますように。
- ・アジア圏での創造宣教の働きが祝福されますように。

## 献金をお願い

国内外に創造のみわざを伝えるため、ぜひご支援ください。  
ジェネシスジャパン  
ゆうびん振替 00350-7-3364  
ゆうちょ銀行 10650-52405611

## イベント案内

■聖書と科学カンファレンス  
2019/8/1 (木) 14:00 ~ 3 (土) 13:00  
@ 撫岳荘 (山梨県山中湖村)  
対象：キッズ・中高・一般・理系

■ジェネシスジャパン  
秋の創造セミナー  
2019/10/24 (木) 15:30 ~ 26 (土) 12:00  
@ ホテルグリーンプラザ白馬 (長野県)  
対象：一般

お問い合わせ・セミナーのご依頼は、  
ジェネシスジャパンまで



### 新刊案内

**どっちがホント？  
わたしたちのトリセツ!?**

原作/くどうみつえ 作画/なかむらたかこ

中学校を舞台としたどっちがホント最新刊。おなじみのマリちゃん・司郎ちゃん・秀君にジェネシスジャパン名誉会長の宇佐神正海先生が加わってヤキイモを食べながら創造の証拠や救いを証します。

定価 350円+税 A5判 内容 44ページ

## 創造を伝える働き人養成講座



### 【募集要項】

- ・聖書の言葉が創造主の言葉だと信じる人。
- ・御子イエス・キリストを救い主と信じている人。
- ・創造を信じることの大切さを学び、伝えたいと願っている人。

### 講座の目的と概要

- \* 創造主のみわざのすばらしさに感動し、その感動を伝える働き人が起こされる
  - \* 創造論の講演に加え、創造論の背景となる知識や考え方を少人数で学ぶ
  - \* 創造を伝えるのに使える資料の提供
  - \* 修了証授与 (全日程参加者)
  - \* 創造論を用いての個人伝道、CSや教会でのメッセージ、講演ができるように協力
- 2泊3日5食・定員 12名・参加費 3万円

### 講座開催予定

沖縄県・恩納村 2019/06/20~22 木-土  
山梨県・山中湖 2019/07/01~03 月-水  
沖縄県・恩納村 2019/08/19~21 月-水  
詳細はジェネシスジャパンへお問い合わせください

良い知らせを伝える者の足は  
山々の上であって、なんと美しいことよ。  
平和を告げ知らせ、幸いな良い知らせを伝え、  
救いを告げ知らせ、「あなたの神が王となる」  
とシオンに言う者の足は。 イザヤ 52章 7節

ジェネシスジャパン会長 宇佐神実



## ノアと洪水前の世界

グランドキャニオンツアーより セドナ近郊のベルロック (左の岩) と裁判所の家 (右の岩) の前で

### 創世記の世界へ

米国アリゾナ州は、都市部を離れると映画の西部劇に出てくるような荒涼とした光景が広がっています。ここには、ノアの洪水で堆積した地層を一望にできるグランドキャニオンがあり、聖書に基づく本当の歴史を体感させてくれる場所が随所にあります。

2019年4月21日から26日にかけてラブリケーション主催のグランドキャニオンツアーが開催され、私も団長として参加者の皆様とこの地域を旅してきました。

現地ガイドで地質学者のイ・

ジェマン師は、同様のツアーを400回以上も率いているベテランで、私のICR (創造調査研究所大学院) 時代のクラスメイトです。

日本では人が推測した進化論に基づく世界の成り立ちが盛んに教えられていますが、聖書に基づく解説を聞きながら現地を見ることが、聖書の記述通りのことが起こったことを実感できます。まさに『百聞は一見にしかず』です。

今回は、このツアーで訪れた町、セドナの様子を紹介しながら、ノアの洪水前の人々の信仰を考えたいと思います。

### 初めは良かった

私たちの住む世界は、天地創造の時「すべてが非常に良い (創世記 1:31)」状態で始まりました。創造主は愛と正義と善のお方ですから、創造主のかたちに造られたアダムとエバも、愛と正義と善意に満ち、喜びに溢れてエデンの園で暮らしていたことでしょう。

創世記 1、2章には、天地創造の記録があります。そこには死も悲しみも労苦もなく、彼らは日々主と会い、主との語らいを楽しんで暮らしていたのです。

黙示録の最後には新天新地の様



←アリゾナ州セドナ  
ニューエイジ運動を信じている人々は、ここに  
幾つものパワースポットがあると信じている。

子が描かれています。それはエデンの園を彷彿とさせます。

見よ。神の幕屋が人とともにある。神は彼らとともに住み、彼らはその民となる。・・・もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。黙示録 21:3、4

親が子の幸せを願うように、創造主は、人の幸せのために最善の環境を用意されたのです。

しかし創世記3章を見ると、人が創造主との契約を破り、逆らって罪を犯したため、すべてが呪われて墮落し、人も動物も死ぬ存在となったことが記されています。

### 大洪水前の時代

さらに創世記4章では、最初の殺人事件が起こり、文明の発展に伴い人が高慢になっていった様子を見ることができます。そして5章には、まるで墓標でもあるかのように歴代の族長たちの生と死が記録されています。このように、非常に良い世界が人の罪の結果墮落していったのです。

そして6章には洪水が起こる直前の時代の世界の様子が描かれています。人々の心はますます創造主から離れ、罪が蔓延し、ついに裁きが宣告されたのです。

そこで、主は、「わたしの霊は、永久には人のうちにとどまらないであろう。それは人が肉にすぎないからだ。それで人の齢\*は、百二十年にしよう」と仰せられた。創世記 6:3

\*齢と訳された語は、原語では「日々」の意で、「百二十年」は人の寿命ではなく、洪水前の世界が百二十年で終焉を迎える宣言だと考えられる。

大洪水前の世界には、創造主を信じる人がどんどん少なくなっていきました。ノアとその家族は、そのような中で創造主を宣べ伝え続けたのです。

当時の人々はどのような宗教思想の中にあっただでしょうか。それを彷彿とさせる町が、先に紹介したセドナです。ここはグランドキャニオンに次ぐアリゾナ州第二の観光スポットとなっていて、ニューエイジ運動の聖地として知られています。街並みには占星術・手相占い・タロット占い・サイキック（超能力）占い・ヒーリング（癒し）・オーラ・メディテーション（瞑想）・パワーストーンなどの看板が軒を連ね、霊能力者を自称する人々が数多く店を出しています。

この町には、聖書の創造主を否定して自然を崇拜し、精神世界や神秘的な悟りを求める人々が溢れています。そして多くの日本人も

ここを訪れるのです。ほとんどの人はニューエイジ運動が異教の教えだとは知らずに深みにはまっています。

ニューエイジ運動の側面をいくつか簡潔に挙げますが、これは一見聖書の教えと似ているところもあるため特に注意が必要です。

1. 聖書の創造主を認めず、万物を神とし、自分も神とする。
2. 人は、自らの霊的探求によって救いに近づくことができる。
3. 善悪を全く問わずに無条件で受け入れる愛を強調する。
4. 死は存在せず幻想であって、高次の自己への転生だとする。
5. 人には、人の人生全体の目的を知る「大なる自己」が内在する。人生の目的は、必要な教訓を得ることで霊的にレベルアップさせ、自己と「大なる自己」との融合を目指すこと。
6. 大なる自己へと導く指導霊（守護霊）が存在し、霊的レベルアップを助け導く。指導霊は助け手で友ようになる。

（参考 Wikipedia：ニューエイジ運動）

聖書の創造主を否定した信仰、それがニューエイジ運動です。自分を神とし、無条件の愛を強調しますが、善悪を問わないため、自分が罪人であることもキリストの贖いが必要であることもわかりません。また、聖霊ではなく悪霊が助け手となり友となります。

聖書の創造主を拒んだ結果、創造主に代わる存在を求め、かつ自己を過大評価した宗教がニューエイジ運動の姿だといえるのです。



パウロは、人々の何が創造主の裁きを招くかを次のように記しています。

彼らは、神を知っていながら、その神を神としてあがめず、感謝もせず、かえってその思いはむなしくなり、その無知な心は暗くなり……神の真理を偽りと取り代え、造り主の代わりに造られた物を拝み、これに仕えた……あなたは、かたくなさと悔い改めのない心のゆえに、御怒りの日、すなわち、神の正しいさばきの現われる日の御怒りを自分のために積み上げているのです。ローマ 1:21, 25, 2:5

現代のニューエイジ運動のように、大洪水直前の人々も墮落した御使いと深く関わろうとしていた可能性が考えられます。

神の子ら\*は、人の娘たちが、いかにも美しいのを見て、その中から好きな者を選んで、自分たちの妻とした。創世記 6:2  
\*旧約聖書で「神の子ら」（英語で "sons of God" というフレーズ）は、御使いを指して使われている（創 6:2, ヨブ 1:6, 38:7）。

続く創世記 6:3 には、このために「主の霊は、永久には人のうちには留まらない」と述べられたのです。

当時の人々は、悪霊との交わりを求め、主の前に悪が増大し、罪が満ちていったのです。

そのことを考えるとき、今の時代は、まさにノアの大洪水前の時代の様相を呈しているのではないかと思います。日本でも、マスメディアは霊媒師や占いの登場する娯楽番組を提供し、パワースポットということばを雑誌や広告でもよく目にするようになっています。多くの人が、これがニューエイジ運動という異教の

教えであることを知らずに、まるで流行でも追うかのようにパワースポット巡りをし、パワーストーンを購入したり、占いや霊媒に頼り、ニューエイジ・ミュージックに癒しと安らぎを求め、結果的に悪霊と結びつくのです。

それだけでなく、ニューエイジ運動は進化論を土台としていて、生物が進化したように人も輪廻転生を繰り返すことによってより高次の素晴らしい存在へと転生すると考えるのです。そしてキリストやブツダなどの聖人も、こうして生まれたなどとするのです。

### 私たちの役割

ニューエイジ運動は、人々の心に宗教だと思われずに入り込んでいる恐ろしい異教だということ、そのために人は創造主の前

に御怒りを積み上げていることを知っておかなければなりません。

ノアは大洪水前のそうした人々に創造主が与える救いを伝えるために立てられました。そしてノアは家族を救ったのです。

そして今、私たちも福音を受け、それを伝える役割をいただいています。この世界が創造されたことと、墮落によってすべての人は罪人となり、主の前に燃える怒りを積み上げる歩みしかできなくなったことを知らせる必要があります。しかもそのような人を創造主は無条件で愛し、人の罪の罰を御子に受けさせたのです。ですから、人が自分の罪を認め、イエス様の贖いの死を信じて救いを願うときにこそ、本当の救いと永遠のいのちを受けられることを、共に伝えようではありませんか。

